

MCT TTT レッスン設計書

名 称	MCT TTT
時間 × 日数	7 時間 × 3 日間 9:00～17:00
受講対象者	MCT 取得希望者
受講者の 想定スキル	MCAS 担当するアプリケーション合格済み ※ トレーナー経験は無い、または少ない方が多いと想定
形 態	6 名までの集合研修 最少催行人数 2 名
使用テキスト	日経 BP 社 プロフェッショナル・トレーナーへの道 エイチ・アール・ディー研究所、MOT コミュニティ共著
機 材	・受講者は 1 人 1 台の PC を使い、講師用 PC の画面をプロジェクターに投影する ・ホワイトボードないしフリップボードを用意する ・ビデオ収録のための機材を準備する
環 境	・2007 Office system がインストールされていること ・ビデオ収録したデータを再生する環境を整えておくこと
ス タ ッ フ	メイン講師 1 名
研 修 の 目 的	MCT に必要なトレーナーとしてのスキルを身に付け、研修の現場で実装できる * 該当するスキル基準は、CTT+における 12 のスキル評価基準(80%以上)に準拠
研 修 の 目 標	・MCT に必要なスキルを実務に実装する必要性が理解できる ・MCT に必要なスキルの基本を演習およびビデオ収録の中で実践できる * 該当するスキル基準は、CTT+における 12 のスキル評価基準(80%以上)に準拠
最 終 評 価	3 日間を通して学習した内容を盛り込んだ詳細プランの作成と 20 分間のビデオ収録ができ、実務への実装の必要性を理解したことで達成とする

1 日目の目標 ・研修の目的と目標を理解し、MCT(トレーナー)としての役割を理解できる ・プレゼンテーションスキルを理解し、演習で実装することができる ・デモンストレーションスキルを理解し、ビデオ撮影(5分)の準備まで行うことができる	
オリエンテーション 9:00-9:15	・講師自己紹介、会場説明、全体および1日目のタイムスケジュールなど ・研修の目的と目標の確認
講義と演習 9:15-12:30 ※ 途中適宜休憩	ポイント ・スキル評価基準のポイントを意識し、関連付けを図りながら説明する ・序章および第1～2章のポイントについて発問を交えながら説明し、演習への実装を意識付ける 序章:テキストの使い方、用語など 第1章:トレーナーの役割(受講者自己紹介を含む) 第2章:プレゼンテーション～正しく伝え、理解・納得を得る
昼食 12:30-13:30(60分)	
講義と演習 13:30-17:00 ※ 途中適宜休憩	ポイント ・スキル評価基準のポイントを意識し、関連付けを図りながら説明する ・第2～3章のポイントについて発問を交えながら説明し、2日目の実演への準備を行う 第2章:プレゼンテーション～正しく伝え、理解・納得を得る 第3章:<実践演習>SFBによる説明と実演(準備まで) * 明日までの準備の説明を含む
2 日目の目標 ・1日目に学習したスキルを、ビデオ撮影(5分)で実装することができる ・インストラクションおよびファシリテーション スキルを理解し、演習で実装することができる ・コース設計から詳細プランまでの研修設計について理解し、詳細プランを作成できる	
オリエンテーション 9:00-9:15	・研修の目的と目標の再確認 ・2日目のタイムスケジュール
講義と演習 9:15-12:30 ※ 途中適宜休憩	ポイント ・スキル評価基準のポイントを意識し、関連付けを図りながら説明する ・第4～5章のポイントについて発問を交えながら説明し、演習への実装を意識付ける 第4章:インストラクション～興味を引き、“できる”をサポートする 第5章:ファシリテーション～励ましとグループシナジーの活用
昼食 12:30-13:30(60分)	
講義と演習 13:30-17:00 ※ 途中適宜休憩	ポイント ・スキル評価基準のポイントを意識し、関連付けを図りながら説明する ・第6～7章のポイントについて発問を交えながら説明し、3日目のビデオ収録への準備を行う 第6章:コースの設計 第7章:<実践演習>安心感の提供と“We can”サポート * 明日までの準備の説明を含む

3 日目の目標 ・2 日間の学習内容をもとに、20 分間の模擬授業を行うことができる ・模擬授業のレビューを自己・他受講者・講師で行い、良かった点と改善点を把握できる ・実務への実装の必要性を理解できる	
オリエンテーション 9:00-9:15	・研修の目的と目標の再確認 ・3 日目のタイムスケジュール
講義と演習 9:15-10:00	ポイント ・スキル評価基準のポイントを意識し、関連付けを図りながら説明する ・第 8 章のポイントについて発問を交えながら説明し、実務への実装を意識付ける 第 8 章: プロフェッショナル・トレーナーへの道 ・コース準備から開催までの流れ(総括) ・コンプライアンス(時間がなければ概要のみ)
ビデオ収録 10:00-12:30 ※ 途中適宜休憩	ポイント ・スキル評価基準のポイントを意識してレビューする ・実務への実装を意識付ける 第 7 章: <実践演習> ・ビデオ収録とレビュー
昼食 12:30-13:30(60 分)	
ビデオ収録 13:30-17:00 ※ 途中適宜休憩	ポイント ・スキル評価基準のポイントを意識してレビューする ・実務への実装を意識付ける 第 7 章: <実践演習> ・ビデオ収録とレビュー ○研修全体のまとめ

※ 受講者人数およびスキルによって、時間配分は変更となる場合があります